

NPO法人
築地居留地研究会

Let's find our roots in Tsukiji



主催：N P O 法人築地居留地研究会

後援：中央区

2025年5月度定例研究報告会 あじさい祭り

テーマ：『誤った理解を正してわかるイザベラ・バードの日本の旅・旅行記の意義と魅力
－居留地・東京やハインリッヒ・シーボルトとの関わりも意識して－』

講演内容：この講演では、イザベラ・バードの明治11年の日本の旅とその記録の本当の姿、つまり眞の魅力と意義が、半世紀に及ぶ旅の生涯を視野に收め、「旅と旅行記を科学する」ことによって初めてわかるることを、本研究会が外国人居留地をめぐる研究と活動を開催しておられ、今日の会がシーボルト博士の誕生月に因み「築地あじさい祭り」として行われる点にも留意して話します。バードの旅と旅行記にとっては、7カ月に及ぶ日本滞在中の4分の1を過ごした東京に関する記述が実は重要で、居留地もまた重要で興味深いのですが、時間の関係で省き、もしそうな機会がいつか与えられればと思う次第です。

日 時：2025年5月24日（土）

14:00～16:00

場 所：カトリック築地教会

2階ホール 80名

（13:30～受付）

入 場 無 料



イザベラ・バード

ハリー・パークス

金坂清則氏

イザベラ・バードの日本の旅のコースと
開港場・開市場など



講師紹介：金坂清則 氏（京都大学名誉教授、王立地理学協会特別会員、王立スコットランド地理学協会特別会員）昭和22（1947）年5月に疎開先の両親の故郷富山県に生まれ、大阪で育つ。

京都大学で地理学を専攻し、「人間活動とその所産の地域的存在様式究明の科学」との独自の定義の下で、人文地理学に関するさまざまなテーマを扱い、斯学の可能性を追求する。

そして、1989年、大阪大学教養部での「性と文化」に関するリレー講義で、地理学を軸とし、学問分野の枠組を超えた学際的研究としてのイザベラ・バード論を扱い、博士課程当時の夢の実現に着手。それ以後、この比重を次第に高め、今に至る。

研究の一環としてのバードの旅行記等の翻訳の一方、フィールド・ワークの副産物である写真を生かした写真展を2004年以降、バードの旅に縁のある日本を含む世界の17カ所で延べ2年半開催。

そして、記念写真集のほか多数の訳書や著書・論文を刊行し、一部は日本語版を充実させた英語版として出版。こうしてバードとその旅・旅行記の真実を世界に向け、また学問成果の社会還元を意識して活動している。

カトリック築地教会へのアクセス

中央区明石町 5-26



地下鉄にてご来場の場合

- ・ 新富町（地下鉄有楽町線）駅 6番出口から徒歩 5 分
- ・ 築地（地下鉄日比谷線）駅 3番出口から徒歩 6 分
- ・

主催：N P O 法人築地居留地研究会

後援：中央区

お問合せ：03-3551-7595（平日 9 時～17 時）